

【BOX 1】標本設計・調査方法の新旧比較表

	見直し前		見直し後	<参考調査>
	15年調査まで	16年～18年調査	19年調査～	
標本設計	二人以上世帯のみ	全世帯 (単身世帯を含む)	二人以上世帯	19年に開始
	「世帯」標本	「個人」標本	「世帯」標本	単身世帯
	・層化二段無作為抽出法による調査地点抽出(400) ・住民基本台帳を用いた標本抽出	・層化二段無作為抽出法による調査地点抽出(560) ・住民基本台帳、選挙人名簿を用いた標本抽出	・層化二段無作為抽出法による調査地点抽出(500) ・住民基本台帳、選挙人名簿を用いた標本抽出 ・住宅地図を用いた抽出法で補完	モニター登録標本
	標本数: 6,000	標本数: 10,080	標本数: 8,000	・モニター調査会社に登録済みのインターネットモニターが標本 ・モニター構成は国勢調査を参考に指定
	回収率: 15年 69% 回収数: 同 4,158	回収率: 18年 35% 回収数: 同 3,476	回収率: 19年 41% 回収数: 同 3,313	回収数: 2,500 (事前に指定)
調査方法	訪問留置法	訪問留置法	訪問と郵送の複合・選択式	インターネットモニター調査法